

「コロナ危機・ウクライナ危機後 の世界と日本」

「アジア太平洋フォーラム・淡路会議」は、アジア太平洋地域の多文化共生のビジョンを明らかにし、その実現に向けて広く社会に提言を行うことを目的に、毎年夏に淡路の地に各界で活躍されている専門家をお招きして国際シンポジウムを開催しています。

第23回目を迎える今回は、新型コロナウイルス感染症によるパンデミックや、米中間の対立、ロシアによるウクライナ侵攻等が、アジア太平洋地域にもたらす影響を見据え、政治・経済・技術・医療など、多角的な観点からアジア太平洋地域のあるべき姿を展望します。

日時 **2022年 8月 5日(金)** 13:00 ~ 17:35

開催方法 **オンラインライブ配信**

撮影・配信 **兵庫県立淡路夢舞台国際会議場メインホール**

視聴方法 **要事前申込、無料**



◆日本語から英語、英語から日本語への同時通訳を用意しています。

◆昨今の状況を考慮し、会議場への入場を制限しています。ご来場希望等についてのお問い合わせは、裏面記載の事務局までお願いします。

プログラム

記念講演1

『ウクライナ危機が問いかけていること』

船橋 洋一 (公益財団法人国際文化会館グローバル・カウンシル チェアマン/
元朝日新聞社主筆)



船橋 洋一

記念講演2

『パンデミックと日本の現場・国際社会』

砂川 富正 (国立感染症研究所実地疫学研究センター長)



砂川 富正

記念講演3

『激動の世界とアジア経済の行方』

澤田 康幸 (東京大学大学院経済学研究科教授/
元アジア開発銀行チーフエコノミスト)



澤田 康幸

当日は、アジア太平洋地域に関する優れた人文・社会科学領域の博士論文を顕彰する「アジア太平洋研究賞」授賞式も併せて行います。【13:15 ~ 14:05 の予定】

■国際シンポジウムお申し込み方法（期限：7月25日（月）まで）

下記ホームページからお申し込みください。

※後日視聴方法を事務局よりお知らせいたします。

申込URL：<https://www.hemri21.jp/awaji-conf/>

※いただいた個人情報等は、淡路会議事務局が適正に管理し、当該事業の案内に関してのみ使用いたします。

◇8月6日（土）開催のフォーラム傍聴について

「国際シンポジウム」翌日の8月6日（土）には、兵庫県立淡路夢舞台国際会議場にて、淡路会議会員限定の「フォーラム」を開催します。

会員外の方も会場にて傍聴できますが、ご発言については会員のみとさせていただきます。

会場の都合上、人数に制限がありますので、傍聴を希望される方は、7月20日（水）までに下記お問い合わせ先にご連絡をお願いします。（フォーラムの主な内容は下表のとおり）

■フォーラム 9：00～16：00

◆基調提案（9：00～10：40）

- ①「ウクライナ戦争の下での米中対立と日本の役割」 講師：川島 真（東京大学大学院総合文化研究科教授）
- ②「危機の時代のグローバル・サプライチェーン」 講師：大橋 英夫（専修大学経済学部教授）
- ③「コロナ危機・ウクライナ危機で直面する経済安全保障の課題」 講師：細川 昌彦（明星大学経営学部教授）
- ④「経済合理性と感染症危機管理」 講師：宮良 高維（神戸大学医学部附属病院感染制御部特命教授）

◆分科会（10：50～12：30）

第1分科会「国際政治から見る米中対立」 第2分科会「危機の時代の技術覇権とグローバル・サプライチェーン」
第3分科会「パンデミックへの対処と国際協力」

◆昼食会（12：30～13：30）

◆全体会（13：30～15：30）

◆総括と謝辞（15：30～16：00）

■お問い合わせ先（国際シンポジウム来場希望、フォーラム傍聴希望など）

アジア太平洋フォーラム・淡路会議事務局（公益財団法人ひょうご震災記念21世紀研究機構 研究戦略センター内）

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2 人と防災未来センター 東館6F

TEL：078-262-5713 FAX：078-262-5122 E-mail：gakuju@dsu@nri.ne.jp

